### もしも、のために知っていただきたいこと

- ■定期の予防接種による副反応のために、医療機関で治療が必要になっ たり、生活が不自由になったりしたとき(健康被害)は、法律に定められ た救済制度(健康被害救済制度)があります。
- ■制度の利用を申しこむときは、お住まいの市町村にご相談ください (制度を利用するためには、一定の条件があります)。
- ※詳細は、厚生労働省HPをごらんください。「予防接種 救済制度」で検索できます。

このリーフレットは、法律ですすめられてい る定期接種のうちBCGワクチンを「きょう」 接種するお子さんと、その保護者のみなさま のために、かならず知っておいていただきた い内容をまとめたものです。

そのほかの定期接種についてまとめたシリーズと、あわせ てお読みください。







ワクチンのはなし



ワクチンのはなし







各リーフレットは、厚生労働省HPおよび予防接種リサーチセンター HPからダウンロードできます。 「予防接種 リーフレット」で検索できます。

### くわしくは

「予防接種と子どもの健康」

(発行:公益財団法人予防接種リサーチセンター)

をごらん ください。



厚生労働省

医療機関名



プ予防接種をうける お子さんと、保護者のみなさまへ

BCG(結核)ワクチンのはなし







# の予防接種を安心してうけていただくために

#04 BCGワクチンのはなし

結核って今もある 病気なんだな!



- ●お子さんの体調はよいか、熱があったり、ふだんと変わったところはないか確認しましょう。
- 心配なことがあるときは、医師に相談 しましょう。質問をメモしておくと伝え やすくなります。
- ●母子健康手帳はかならずもっていきましょう。





- 小さなお子さんは動かないように、しっかりと抱っこしてあげてください。保護者のみなさまがリラックスすると、お子さんも安心します。
- ●注射で泣くお子さんは多いもの。大切な予防接種が苦手にならないように、がんばったことをほめてあげるなど、保護者のみなさまの工夫がカギです。

### BCGワクチンって?

- ◆BCGワクチンは、抵抗力(免疫)の弱い赤ちゃんが結核を発症したり、重い症状の結核になることを防ぐために接種します。
- ◆BCGワクチンを接種することで、体のなかに結核菌への抵抗力(免疫)ができ、赤ちゃんのうちは免疫をもち続けられます。
- ◆BCGワクチンは、二の腕の外側の真ん中あたりに2カ所、スタンプを押すように接種します。
- ◆このワクチンは1歳になるまでに接種することになっています。
- ○予防接種をうけても、お子さんの体質や体調によって完全な免疫ができないことがあります。でも予防接種をうけておくと、たと えかかっても、その多くは軽くてすみます。

ワクチンを 接種するときの ポイント

- ●接種直後、30分くらいはすぐ対応してもらえるように、医療機関のなかでお子さんの様子をみてあげるか、すぐに医師と連絡がとれるようにしていてください。 この間に急な体の変化がおこることがあります。
- ●帰宅後もはげしく体を動かすことはさけさせ、接種個所をきれいに保ってあげましょう。
- ●おふろには入れてもかまいませんが、接種個所をこすらないでください。

予防接種をうけたことは将来、その病気に対して免疫があることを示す大事な記録 となります。母子健康手帳は大切にとっておきましょう。

## おこるかもしれない体の変化(副反応)

- ◆BCGワクチンを接種した後、わきの下や足のつけ根など(リンパ節)がはれたり、全身に赤みがでたりすることがあります。
- ◆接種による普通の反応として、5~6週間くらい後、接種個所に赤いぶつぶつや、一部に小さなうみができます。その後、かさぶたになり、接種から3カ月後にはなおります。このような反応は特に心配いりませんが、まれに大きなうみになるなど、治療が必要になることもあります。
- ◆ただし、反応がでる時期には注意が必要です。これらの反応が接種後10日以内にでたら、すでに結核 菌に感染している可能性があるため、すぐ医療機関に相談してください。
- ◆きわめてまれにアナフィラキシー¹)、骨炎、全身播種性BCG感染症²)がおこることがあるといわれています。
  1)アナフィラキシー:急激なアレルギーにより、じんましんができたり呼吸が苦しくなったりします。
  2)全身播種性BCG感染症:ワクチンが原因で、重い症状の結核のような状態になってしまいます。
- ○予防接種をうけた後、気になる症状や体調の変化があらわれたら、すぐ医師に相談してください。





